

樹木を多用した自然を体感する庭



↑ 樹木から陽の光がこぼれるレンガの小道はまさに高原の雰囲気。

雑木林をイメージしたシェードガーデン



↑ 樹木の目隠しでプライベート空間を確保。

↑ 枕木にセットされた照明は、庭全体を明るく照らしてくれます。

岩手県K邸
 施工面積＝約 19 坪
 施工期間＝約 14 日
 費用の目安＝約 150 万円
 設計・施工＝トータルエクステリア (P126 参照)
 プランナー＝内記 義経さん

岩手県S邸
 施工面積＝約 17 坪
 施工期間＝約 14 日
 費用の目安＝約 150 万円
 設計・施工＝トータルエクステリア (P126 参照)
 プランナー＝細川 睦さん



↑ この庭のメインとなるコーナー部分のシェードガーデン。



これだけ樹木があると、夏でも涼しげに見えて、外を通りかかった人にも目で楽しんでいただける、内からも外からも楽しめるプランになりました。



↑ 玄関前も植物と枕木でまっています。



↑ 葉陰から見えるウッドデッキはいかにも心地良さそう。

平面図



← 道路に面した庭を樹木で目隠しすると、通りがかりの人の目にもやさしい。

作成＝トータルエクステリア

平面図



作成＝トータルエクステリア



→ ウッドデッキには、日除けをつけて、日差しをやわらげて



→ 奥へと続く小道の両側に照明を配し、夜間の歩行にも配慮しています。



→ ポリウレタンのある植栽をうまく配置して、床面の処理によってまっています。

角地に建つK邸。庭づくりにおいて、自然をテーマにプランすることが多いのですが、この実例は、まさに自然というテーマにピッタリのプランとなりました。

前面道路はわりと人通りが多いのですが、特に高さのある壁をつかって敷地内のプライバシーを確保するようなことをせず、樹木を利用した目隠しを考えました。

枕木に積んだレンガはゆるやかなR(曲線)を描き、樹木同士をつないでいくようなラインにしました。まるで高原にいるような気持ちで、レンガの小道を歩くことができます。

ウッドデッキからのながめも良く、通り抜ける風に樹々の葉がそよぐ音が気持ちをスーッとラクにしてくれます。また、樹々の葉からこぼれる陽の光も心地良く、いながらにして自然を体感できるお庭となりました。

Planner's comment

内記 義経さん
 建物、周囲の環境、そして視線や人・車などの動線をうまくデザインに取り入れること、そして、何よりも住む人のライフスタイルに合ったプランを心掛けています。

Planner's comment

細川 睦さん
 雑木林をテーマにしたこの庭では、樹木の高さを意識しました。高・中・低と、空間をうまく埋めているように、さまざまな種類の樹木を組み合わせました。

コーナーにお庭のあるS邸。Sさんとの話し合いを通じて「雑木林のお庭」のイメージで植物をメインにプランしました。Sさんが植物にこだわりたいため、植物の種類や配置まで一緒に決めることに。既存の樹木も利用しながら、大きなものから配置を決めていきました。

自然石の小道を歩くと、高木から草花へとさまざまな花や葉を楽しむことができ、夜には、石を積んだ陰からもれるライトの明かりがシャヤラの木の幹をきれいに照らしてくれます。

部屋の中からも見える突き当たりのコーナーの部分が、この庭のメインとなるシェードガーデン(日陰の庭)です。枕木やゴロタ石を組み合わせた中に、植物をからめていきました。日陰ではあっても、緑が明るく演出してくれるように植物を選び、葉の色や形に変化をつけました。また、枕木のライトが全体を明るくしてくれています。

Sさんが植物にたくわしく、また植物が好きなので、植物の成長を楽しんでいただけるように、はじめは小さな株から植えこみました。



← ガーデンパラスも白で統一。手前の樹木はジュニパーベリー。



↑ キッススペース。お子様が外で遊ぶのが楽しみです。



↑ 2階から見た状態。レンガと枕木の自然なアプローチ。



↑ 門扉をくぐったところからデッキをのぞいて。外壁(写真左側)に合わせて、塗り壁の塗装もラフな仕上げに(写真右側)。



← 愛犬のペティちゃん、んとルビィちゃん。



← Kさんお手製の「ホワイトテラス」

岩手県K邸
 施工面積=約18坪
 施工期間=約30日
 設計・施工=トータルエクステリア (P126 参照)
 プランナー=伊藤 良男さん

Planner's comment



自然をテーマにしたプランを心掛けています。薪木や自然素材を使った庭は、はじめからつくりこみます。施工後には、お客様に手を加えていただながら、お客様に庭の成長過程を感じていただけるような庭づくりを提案したいと思っています。

アンティーク & ナチュラル ガーデン



↑ テラス全景。白のフェンスとデッキが、室内にも明るい日差しを取り入れます。



→ 駐車スペースは、コンクリートとレンガで。車がなくても楽しめます。



→ 遊び心たっぷりな門まわり。門柱のレンガの目地も、わざとモルタルを出すように、ラフな仕上げに。

オレンジ色の洋瓦がひととき目立つK邸。ラフな仕上がりでできている建物の白い外壁が、ぬくもりを感じさせるようなお宅でした。アンティーク家具にこだわりを持つKさんからは、
 ①自分で準備していたアンティーク調の扉やフェンスを使ってほしい。
 ②外壁に合わせて、塗り壁の塗装をラフに仕上げしてほしい。
 とのご要望がありました。
 施工で使用した扉やフェンス、枕木なども、すべてKさんが準備したものです。どれもすてきなものでありました。これらのアンティーク調の素材を使用し、建物の雰囲気や合うように、ナチュラルイメージで、お庭のプランをしました。
 隣家との境界は、外壁に合わせて塗り壁を基本に、レンガや枕木、フェンスを織り交ぜ、遊び心が出るようにしました。
 アプローチのレンガも、しっかりと形をつくらず、自然な敷き方に。門柱のレンガの目地(継ぎ目)も、わざとモルタルを出すように、ラフな仕上げにしました。
 お庭の工事完成後、Kさんがご自分でつくられた白いアーチとデッキが追加されると、いっそう明るいイメージになりました。とてもすてきな雰囲気でお庭づくりを楽しんでくださり、私たちもとてもうれしく思っています。